

2023 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生（個人および団体）を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

【 個人 】

氏名	所属	表彰内容・理由
橋本 あんず	人間心理学科 3年	5歳から始めた競技一輪車で今に至るまで研鑽を続け、以下の優秀な成績を収めた。 フランス開催世界大会フリースタイルペア部門 (UNICON20 Freestyle Pair Expert) 優勝 (2022年8月)、全日本一輪車競技大会ソロ演技部門 女子総合優勝 (2023年11月) また、シルク・ドゥ・ソレイユの公演 (2023年5月 VIZION by CIRQUE DU SOLEIL サウジアラビア公演) に帯同し、一輪車のパフォーマーとしても活動の幅を広げている。
酒井 華代	健康栄養学科 4年	2022年度より舞踏研究部長として部をまとめながら、自身も積極的に大会に出場し、2023年度には以下の優秀な成績を収めた。 第125回東都大学学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第2位、第111回東都日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第3位、第126回東都大学学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第2位、第112回東都日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第3位、第69回全日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 優勝
大湊 唯	管理栄養学科 3年	ダブルダッチサークルに所属し、世界大会を目指す大学生らと共に5名のチームを組み、2023年度には以下の優秀な成績を収めた。 Double Dutch Contest Japan2023 (ダブルダッチ全国大会) 準優勝、Double Dutch Contest World2023 (ダブルダッチ世界大会) 日本代表チームとして出場し第5位 (2023年7月) 学業との両立が困難な中、時間を捻出して勉学に励み、管理栄養学科の学生として適切な食事や食生活を実践し、チーム仲間にも共有した。また、世界大会への出場の際はクラウドファンディングを立ち上げるなど、「発想女子」として魅力ある姿を見せた。

【 団体 】

団体名 (所属学科)	表彰内容・理由
プロジェクト団体 「復興支援学生ボランティア委員会」 (日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・人間心理学科・メディア情報学科)	東日本大震災発生後の2011年6月に、炊き出しボランティアとして岩手県大船渡市を訪問したことをきっかけに発足したプロジェクトであり、震災から10年以上経過した現在は、SNSを活用し、同市の魅力を伝えるPR活動や、震災の記憶を後世に伝える活動等を行っている。今年度は、同市の銘菓とのコラボスイーツを開発し、相生祭や相模原農業まつりにて販売すると共に、相模原市社会福祉協議会へ贈呈した。また、幼稚部にて、同市の市花「椿」を題材にした紙芝居を園児に読み聞かせする等、学園内での新たな交流機会を創出した。これらの活動の一部は複数のメディアにて掲載された。
2023年度 相模女子大学中央執行委員会 (子ども教育学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科・食物栄養学科)	これまで停滞していた委員会活動を活性化し、来年度につながる活動を行った。入学式の記念品の決定・準備・配布等の入学式の支援や、新入生歓迎会の準備・運営、卒業アルバムのデザイン・作成や卒業式の支援、春期学生大会の主催等の通常活動の他、新企画として、山梨県へのバスツアー、若手お笑いタレントによるお笑いイベント、ディズニーテーブルマナー講座、サガジョランチフェスを考案・実行し、多くの学生の参加を集め、関心を高めた。

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
<p>「さがじょの四季クッキー」 パッケージデザイン・ ラベルデザインチーム (メディア情報学科) (連携学科・研究科：食物栄養 学科、社会起業研究科)</p>	<p>「さがじょの四季」クッキーは、食物栄養学科と相模原市の菓子店「西洋菓子海援隊」との連携及び社会起業研究科有志のサポートにより、校内の自然をイメージしたクッキーとして卒業生、地域の人向けのお土産として開発された商品である。本デザインチームは、そのデザイン制作を任せられ、デザイン開発にあたり、初めに3つのグループに分かれ市場調査、印象評価、感性評価など探求した調査を行った。その後、デザイン制作の専門性を活かし個人制作として、梅、銀杏、桜、ほうじ茶4種類のクッキーのラベルデザイン、パッケージデザイン、商品解説のためのカードを1セットとし、21点を制作及び提案した。最終的に印刷工程等も踏まえて選定され、デザインが決定。販売に合わせ修正を重ね、相生祭での販売では好評を得て完売となった。校内の美しい四季をパッケージデザインとして伝えられたことは、大学のイメージ向上に貢献したと言える。</p>
<p>「ビジュアルデザインラボ ・コントラスト」 (生活デザイン学科)</p>	<p>【おーのじかん】(相模大野まちなか手づくり体験工房)の公式キャラクター制作を手掛け、パンフレットやパペットへの展開を始め作品展示等を通して相模原市やその周辺地域の施設や店舗の情報発信に貢献した。また相模大野アートクラフト市の開催におけるイベントウェルカムボードのデザインを手掛ける等プロモーション活動にも貢献した。情報の視覚化による「デザインで貢献できること」をデザインの付加価値として成果発表することができた。</p>
<p>産学連携テキスタイル企画 「Rebo-n (リボーン)」 (生活デザイン学科)</p>	<p>学生が2グループに分かれ2社の企業(繊維専門商社・再生プラスチック雑貨の取扱会社)と連携し、廃棄資材のアップサイクルに取り組み、アクセサリ・インテリア雑貨やアクセサリ・小物をデザインした。相生祭にて作品展を行い、また2024年2月に東京ビックサイトで開催された国内最大級の見本市である東京インターナショナルギフト・ショーの「Ethical Style Fair」に出展した。出展に伴い、作品制作の他にブースのデザインやカタログ制作も行った。</p>